

令和5年11月度

## ネットパトロール記録

### 概要（傾向・事例等）

本年8月度に書いたように、プロフィールや投稿には学校や氏名などの個人を特定する情報を掲載せず、プライバシーに気を付けている青少年が多くなっています。また、フォロワー以外には投稿を見られないように、非公開アカウント（鍵アカ）での利用も多くなっているように見られます。任意抽出した県内青少年のInstagramアカウントのフォロワー（友達）の非公開率は次の通りです。

高校生	83.0%	80.3%	76.2	75.7%	69.7%
中学生	70.3%	69.4%	67.9%	66.6%	64.7%

中高生とも6割以上の高い非公開率ですが、総じて高校生 > 中学生であることが分かります。9月の本資料でも、ここ数年は中学生の問題投稿の検出が増加傾向にあると分析しました。スマートフォン所持開始年齢の低年齢化に加えて、上のような非公開率の相違も関係している可能性があります。

### 今月のおねがい ～ ネット利用開始時の約束 ～



中学生だけでなく、小学生のSNSアカウントを補足することが増えてきています。小学生のネットトラブルとしてよく見聞きするのが、オンラインゲーム内でのトラブルや、ゲームや動画の長時間利用による生活リズムの乱れですが、SNSなどのネットを介した対面ではない交友関係の広がりに伴い、家庭や学校とは異なるその「界限」の習慣に影響されて、言葉づかいが乱暴になったり、差別語を口にしたりすることも目につきます。

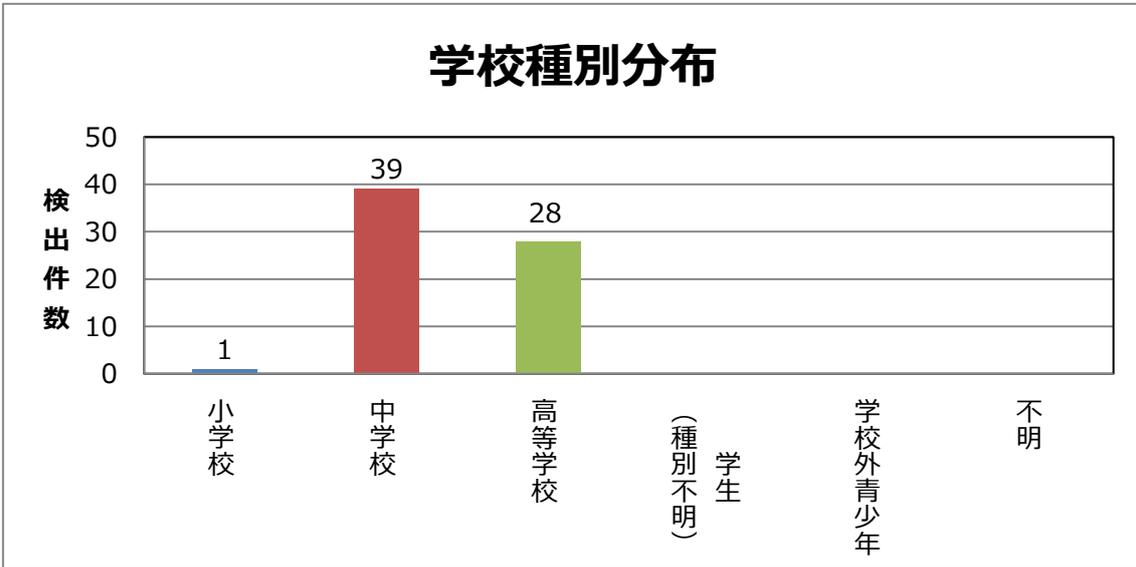
ネット端末（ゲーム機、知育用タブレット、スマートフォンなど）の利用開始時には、家庭内でしっかりとした約束（ルール化）をして、成長やネット環境の変化に即して、随時見直すことが、ますます重要になっています。

### 検出件数

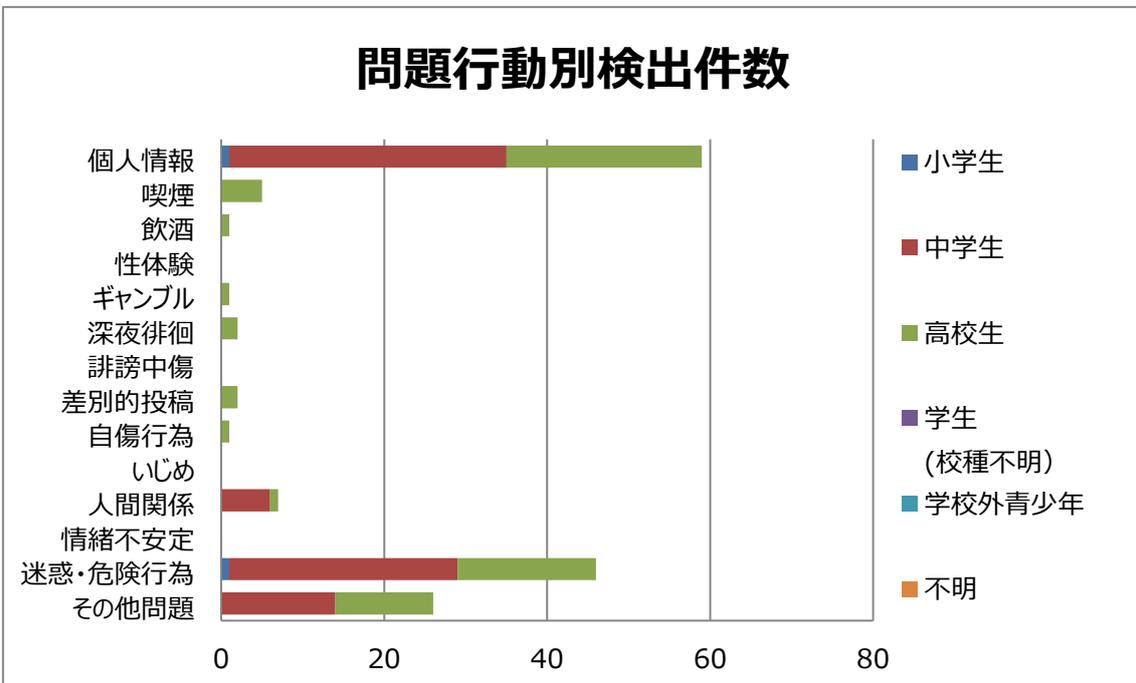
11月の検出件数は**68**件でした。



### 学校種別検出件数

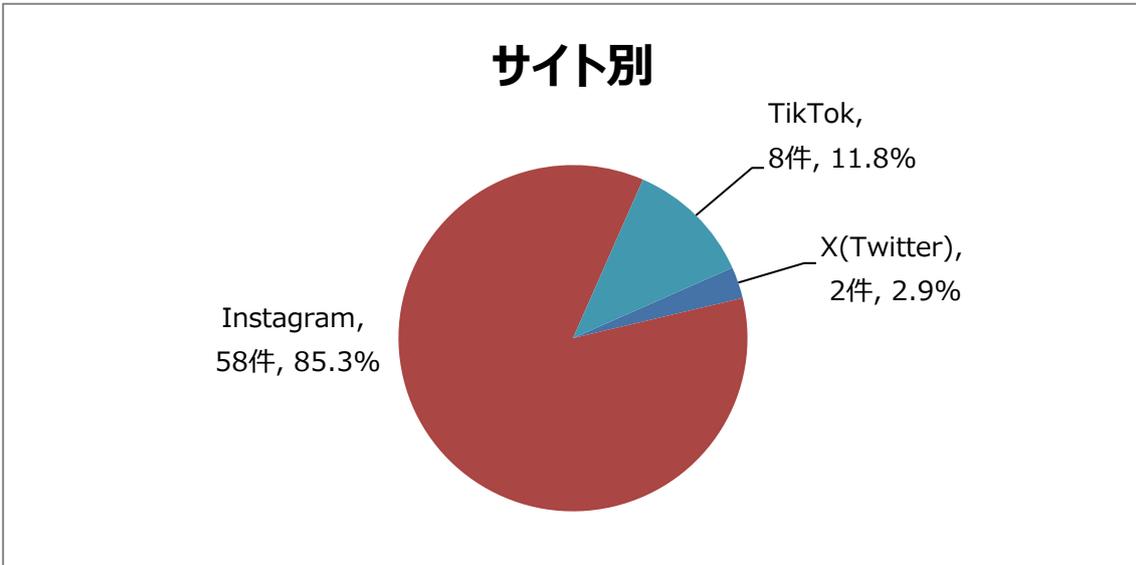


### 問題行動別検出件数





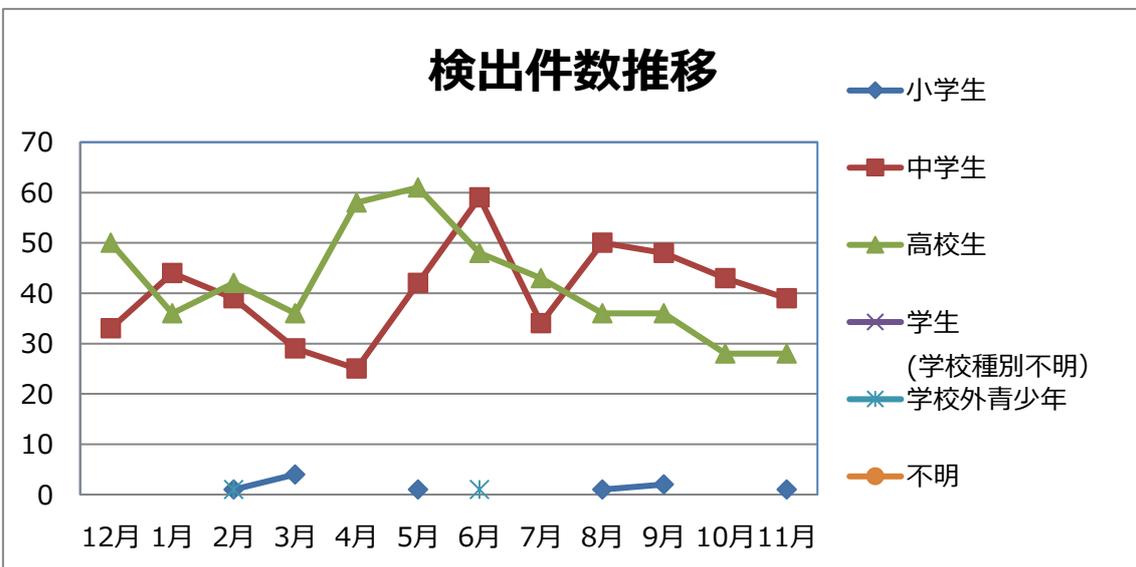
## サイト別



※四捨五入のため合計が100%にならないことがあります。



## 検出数推移



以上